



公益財団法人
栃木県農業振興公社通信

Tochigi Agricultural Corporation



2026
1/31

つなごう！
とちぎの食と農実践講座

「とちぎの苺～苺の甘い秘密～」
株式会社 雄 取締役副社長の
猪野正子さん（栃木県名誉農
業士）を講師に迎え、真岡で
いちご栽培が盛んになるまで
の先人の努力や、ハウス見学・
紙芝居を通して、いちご生産
について学びました。
とちぎのいちごの魅力につい
て理解が深まる機会となりま
した。

2025
12/20

とちぎの恵みを知って使って味わう
家庭実践講座

「さつまいものロールケーキ作り」

宇都宮市 Hikari農園 阿部香折さんから
さつまいも生産のお話を伺い、紅はるか
と栗かぐやを使ったロールケーキ作り
を行いました。野菜ソムリエプロ（とちぎ食育
応援団）・川村葉子先生の指導のもと、楽
しく学び味わう講座となりました。

とちぎアゴ

第 2026 号
6

《お問い合わせ》

公益財団法人 栃木県農業振興公社
住所：宇都宮市一の沢2-2-13
とちぎアグリプラザ1階

TEL：028-648-9511(代表)
FAX：028-648-9517
営業日：平日8：30～17：15
(土日祝、年末年始は休業)



公式HP



X(エックス)



Instagram



とちぎ花センター
とちはなちゃん



栃木県
なかがわ水遊園
なかつびー

とちぎ花センター、
栃木県なかがわ水遊園は
栃木県農業振興公社が
管理運営をしています。



畜産事業部・今日の現場

堆肥舎で活躍するホイールローダーを紹介します!!



ホイールローダーによる
切り返し作業の様子



堆肥舎

切り返し作業を効率的
に行えるため、発酵が
スムーズに進み、良質
な堆肥ができます。

今日の出張飯!

現場打合せの帰りに真岡市にあるラーメン屋さんに行きました♪
「ネギラーメンとミニチャーシュー丼」を頂きました!
寒い季節にはピッタリのピリ辛ネギとコクのある味噌スープでカラダが温まりました😊



ホイールローダーって何だろう?

堆肥化って何?

ホイールローダー導入の効果は?

大きなバケット(すくう箱)を使って堆肥の切り返し(すくう・ほぐす・混ぜる)作業等ができる重機のことです。

家畜ふん尿などの有機物を分解・発酵させ、畑の肥料(堆肥)にすることです。

作業時間が短縮でき、堆肥品質の安定化を図れます。



第2回とちぎの農業法人見学ツアー

2026年2月14日(土)開催

県内外から参加!



タイムスケジュール

午前 (株)ベリーズバトン訪問

先進的な農業経営に取り組み、働き方改革を実践している

経営者から生産現場の工夫や人材育成の取り組みについての説明

午後 (株)大三を見学

独自の販売網により安定した経営基盤を構築している

経営者から求める人材や会社の方針についての説明



農業法人見学ツアーの様子



参加者の声



- 「自分は農業についての知識がほとんど無いのですが、実際の農地やハウスを目の当たりにして理解出来たことが多く、たくさんのことを学ぶ時間となりました。」
- 「紙やHPでは絶対に掴めない、経営者の生の声を知る貴重な機会でした。」
- 「農業を取り巻く大変幅広く深いお話を聞いてとても勉強になりました。夢のある事や厳しい側面も知ることができ、栃木県の農業に対する解像度がとても上がりました。」

雇用就農インターン

当会社では、雇用就農を希望する青年農業者(45歳未満)を対象に、農業法人等における農業インターン(3~7日)やチャレンジ就農(1か月以上3か月未満)を支援しています。ご希望の方は、トキノのホームページから就農相談をお申込みください。



雇用就農インターンの様子



雇用就農インターン



就農相談予約フォーム

《今後も就農イベントを開催して、農業の魅力を発信していきます!》

農地中間管理事業（農地バンク事業）

農地バンク事業ってなに？

農地を貸したい人から農地中間管理機構（農地バンク）が農地を借り受け、地域計画に基づいて農業の担い手に農地を貸し付ける制度です。栃木県農業振興公社は平成26年に栃木県知事より農地バンクの指定を受けました。

なぜ農地バンク事業が必要なの？

日本の農業が抱える課題を解決するため、公的機関が仲介する仕組みで、必要不可欠な事業になっています。

＜ 主な理由 ＞

- ① 農地の細分化を解消し、生産効率を上げるため
- ② 増え続ける耕作放棄地を減らすため
- ③ 新規就農者や経営拡大を目指す農家が農地を借りやすくするため
- ④ 地域農業を維持し、食料供給体制を守るため

※2025年度以降、農地の権利移動は原則「農地バンク経由」となっています。

農地バンク事業の仕組みとメリット



事業を活用する担い手からの声

グラフで見る農地バンク

借入面積が毎年伸び続けています。

令和1～6年度 借入面積 (ha)



アーデルファーム株式会社

那須塩原市

那須塩原市下大貫地区を中心に、水稻を主体とする土地利用型農業を営む法人です。農地バンク事業を活用して約69haの農地の集積を行いました。



地域の農地管理という課題に対し、農地バンクを活用した貸借を進めたことで、機構集積協力金も有効に活用でき、地域内の農地集積を大きく加速させることができました。

地域の農地区画は30a規模であり、農業機械の導入効果が限定的であることから、農地バンクの活用と一体となった農地整備の推進を期待したい。

今後も規模拡大による人材確保や設備投資などへ適切に対応し、地域を守る地元企業として、更なる経営力の向上に努めたい。



農地バンク担当

あなたの農地も活用してみませんか！



とちぎの恵みを知って使って味わう家庭実践講座

第4回

いちごタルト作り

2026年1月17日(土)

を開催しました。

県産農産物への理解を深めてもらうため、県内在住の親子を対象に、生産者から直接お話を聞き、その農産物を使った調理体験を行う講座を開催しました。

『いちご』をテーマに大田原市の生産者・中山知代子さんを講師に迎え、栽培から食卓に届くまでを紙芝居やクイズで楽しく紹介しました。



農産物への関心がさらに高まる機会となりました。



《参加者の声》

- ★いちごについて楽しく学ぶことができてよかった
- ★これからも県産いちごをたくさん食べたい



とちぎ食育応援団の川村葉子さんの指導のもと、中山さんが丹精込めて育てた「とちあいか」をふんだんに使用したタルト作りに挑戦。親子で協力しながら盛り付けを楽しみました。



農家民宿 はじめませんか！

公社はインバウンド需要にも対応できる農家民宿を応援しています。開業の相談や専門家の派遣、農村プロデューサーによる伴走支援など、総合的にサポートします。

農家民宿とは？

農家が自宅の一部や蔵などを活用して旅行者を受け入れ、農業体験や農村の暮らしを体験してもらう宿泊施設のことです。

どうやって始めるの？

旅館業法の許可または民泊新法の届出など関係する法律の手続きが必要ですが、宿泊室の面積が50㎡以下であれば、比較的容易に開業できます。

実践事例

長野県に先進地視察に行き「私たちにもできるかも」と実感。軽い気持ちでスタートして早11年！そんな

「農園Hotel長ぐつの田んぼ」さんをご紹介します。



2014年：母屋を活用し農家民宿「葵あおい」を開始
2025年：離れ「農園Hotel長ぐつの田んぼ」を開始

お料理や農業体験はどんなものを提供しようか？海外の方とのコミュニケーションはどうするか？など、悩みはありましたが、「楽しい！」という気持ちがあるので、工夫しながら続けられています。



ツーリズムで料理や安心安全に関する研修会を開催してくれています。これに参加することで困りごとの解決にもつながりました。

《大切にしているおもてなし》

- ★我が家ならではの献立
- ★自然を満喫する体験メニュー
- ★清潔で心地よい滞在環境をご提供
- ★楽しくコミュニケーションを図る
- ★滞在中の保険など安心安全への準備



自家のお米を使った料理



生き物探し



清潔なキッチン

《宿泊者の声》

- ・野菜が苦手だったが、甘くて美味しかった。
- ・夜空いっぱいの星がキレイで、とても驚いた！
- ・農作業を体験して食べ物の大切さを感じた。



R8年度セミナーのご案内

農家民宿に関心のある方のため、セミナーを開催する予定です。ぜひ参加してみませんか！

※詳細はこちらでご確認ください